

写真で見るきいたかしの活動報告(1~2月)



北九州市高齢者福祉事業協会の新年賀詞交歓会に出席、福祉現場の話を伺う。



小倉南区で国政・県政報告会。高津尾・加用各地区の皆様、泉県議と意見交換。



衆院予算委員会にて原口一博総務大臣に有線ラジオ放送事業の改善を質す。



衆院予算委員会第3分科会にて議事進行を担当。(写真右は千葉法務大臣)



JR小倉駅前にて朝の街頭演説。予算委員会質問など、国会活動をご報告。



行橋市長選挙の出陣式に民主党を代表して出席し、候補を激励する。



衆議院議員 きいたかし(城井 崇) 36歳のプロフィール

1973年(昭和48年)北九州市門司区生まれ。田野浦小、早鞆中、門司高を卒業。北九州予備校で2浪後、京都大学へ。同大学卒業後、松下政経塾に入塾。卒塾後、前原誠司氏(民主党元代表)秘書などを経て、衆院選に初挑戦。比例九州にて初当選。衆院文部科学委員などを務めた。05年衆院選で60,662票をいただくも惜敗。4年間の政治浪人を経て、09年衆院選に再挑戦、123,312票をいただき、小選挙区当選で国政復帰させていただく。現在、北九州市門司区・小倉北区・小倉南区で地元の衆議院議員として謙虚にかつ大胆に活動中！
好きな食べ物：ラーメン 気になること：絵本選び 家族：妻と娘の三人家族



衆議院議員

このチラシを配って下さる方を募集中!

きいたかし

城井 崇レポート2010. 2~3

きいたかし後援会事務所
〒802-0072 福岡県北九州市小倉
北区東篠崎1-4-1-201
TEL: 093-941-7767
FAX: 093-941-5535
メール: smile@kiitaka.net
ブログのQRコード▲



ブログでも活動報告中!
「きいたかしブログ」で検索

きいたかしウェブサイトは
<http://www.kiitaka.net>

海洋国家日本の未来を問う

皆様こんにちは。衆議院議員のきいたかしです。通常国会での予算審議が進んでいる昨今、私は衆院予算委員として、来年度予算審議に連日参画しています。

与野党なく急ぐ課題に全力を注ぐ
去る2月16日の一般的質疑の際、初めて予算委員会での質問の機会を頂戴しました。ここまで野党側からは、政治とカネの問題にほとんどの審議時間を費やす有様でした。もちろん、当事者が説明責任を十分に果たすことは大事です。しかし、そのことだけにとられすぎ、目下の不況を脱する手立てがおろそかになっては国民の期待に応える事にはなりません。そこで、私は与党も野党もなく対応を急ぐ課題である経済対策



城井代議士の質問に答える前原国土交通大臣

に力を注がねばとのメッセージを発するべく、経済活動の大きな舞台のひとつ、海洋、港湾、物流に関わる質問を港町門司港生まれの代議士としてさせていただきました。

過去を検証し港湾強化を

私の主張はこうです。
「海洋国家日本としての前進を目指すべき。しかし、旧政権の現行政策、例えば、スーパー中枢港湾政策、分散した地方港投資などの結果として、港湾政策は世界と比べ周回遅れという結果だ。この厳しい実態を踏まえてどのような将来像を描くか。船舶、港湾がわが国の未来に果たす役割はきわめて大きい。人の流れ、物の流れの大動脈。モーダルシフトを担う環境にやさしい輸送手段、災害時・緊急時における陸上ルートへの代替機能。以上の役割を念頭に、港湾強化を一日も早く進めていかねばならない。」この主張を申し上げた後、現行政策の検証、将来像の提示、具体策の詳細検討について順次お伺いしました。



予算委員会初質問に立つ城井代議士

(1面から続く)
具体的には、東アジアの物流の拠点となる国際ハブ港湾に育成する「国際戦略港湾」の具体化においてソフト面を重視する必要性、地方港を生きさなければハブ港も生きない事などについて提案とともに質問しました。

迅速にフェリーを支援せよ
また、高速道路の料金引き下げに伴い、多くの輸送機関に影響が出る懸念について多くの皆様からご意見をいただいています。その中でも今回は内航フェリーへの支援を急ぐ必要性について前原大臣に訴えました。

フェリーの運賃収入の約7割はトラックからの収入です。それが失われれば、航路の維持・存続が出来ません。航路存続が可能となるよう、フェリーとの競争条件にも配慮したきめ細やかな上限設定制度とする必要があることを具体例とともに質問しました。この後、本四間のフェリーへの支援検討など、国土交通省も少しずつ対応しています。

海にしても、港にしても、フェリーにしても、衆議院議員としての行動基準となるのはやはり「現場の声」です。皆様の声を受け、冷静な頭と熱い心で頑張ります。

衆院文部科学委員会で質問

科学技術は国の発展の柱だ



文部科学委員会で熱く質問する城井代議士

去る2月24日、私は衆院文部科学委員会において大臣所信、特に我が国の科学技術政策に対する質問の機会をいただきました。

科学技術振興の重要性
科学技術は、資源の乏しいわが国にとって、国家の将来がかかる重要な柱だと思います。その一方で、苦しい中納めていただく税金の使いみちの一つ、限られた科学技術予算をいかに思い切って投資し、また効率的に配分するか。政府研究開発投資が他国に比べ差が開く状況を打開し、国際競争力を上げる政府投資と、既存の科学技術予算に潜むムダづかい解消を政府に提案しました。

次世代スパコンは「次の次」が大事
一例として、次世代スーパーコンピュータについても触れました。世界レベルを確保し、研究利用を促す工夫を来年度以降もしっかり進めるべく具体的な提案を申し上げました。特に、単発的な大プロジェクトではなく、今の段階で「次の次」のスパコン開発計画の方向を出すべきとも申し上げました。最新のスパコンが世界レベルでいられるのもほんの5年です。財政厳しき折、投資を回収する発想を大事にしつつも、米国をはじめとする各国の技術投資が先の先に言っている現状を見つつ、我が国としてトップレベルの技術革新とそれを扱える人材育成を取り組んでいくべきと考えます。

科学技術人材の育成に工夫を
そんな科学技術を支えるのは人材です。その人材育成の工夫も合わせて提案しました。特に、大学、大学院、大学院修了以降の人材を活用する方向性をもっと具体的に示すべきだということ、研究現場への補助のあり方も、例えば春に端境期を迎える大学の科学研究費の支給についても科研費の一部前倒し支給など工夫すべきことなどです。

科学技術については、引き続き、文部科学委員として積極的に提言していきます。

「きいたかし国政報告会」 開催のお知らせ

「国会から見た民主党政権の今と未来」と題しまして、きいたかし国政報告会を開催いたします。きいたかしが直接ご意見を伺い、お話しいたします。皆さまお誘い合わせの上、お越しいただくと幸いです。



出前でタウンミーティングの1コマ

＜当面の予定＞

- * 3月 6日(土) 17:00~18:00
日明市民センター (小倉北区日明4-3-7 電話:093-571-3704)
- * 3月 7日(日) 16:00~17:00
守恒八旗会館 (小倉南区守恒本町1-25-8 守恒リンガーハットの斜め前)
- * 3月13日(土) 16:00~17:00
今町市民センター (小倉北区今町3-19-2 電話:093-571-9898)

ご希望の地域での国政報告会開催も募集中。
詳しくは、きいたかし国政報告会実行委員会事務局(093-941-7767)まで。

きいたかし新春の集い2010 1,000名を超えるご参加に大感謝!

ご参加の御礼と欠席のお詫びを申し上げます。

去る1月25日に恒例のきいたかし新春の集い2010を後援会主催で開催いただきました。ご多忙の中、1,000名を超える多くのご参加をいただき心から感謝を申し上げます。また当日、平成21年度第2次補正予算案の衆議院本会議採決が急遽行われることとなったため、私本人の出席がかなわなかったことについて、心からお詫び申し上げます。皆様の激励を胸に今年一年しっかり頑張りたいと思います。



新春の集い2010の1コマ

ハイチ 復興支援 募金に感謝



去る1月に発生したハイチ大地震への復興支援募金に多くの皆様にご協力いただき感謝申し上げます。この度お預かりした43,502円は日本赤十字社を通じて現地の復興支援活動へお届けしたことをご報告申し上げます。